

31ft鉄道コンテナでの往復輸送

協議会名:ニプロ31ft鉄道モーダルシフトラウンドユース推進協議会

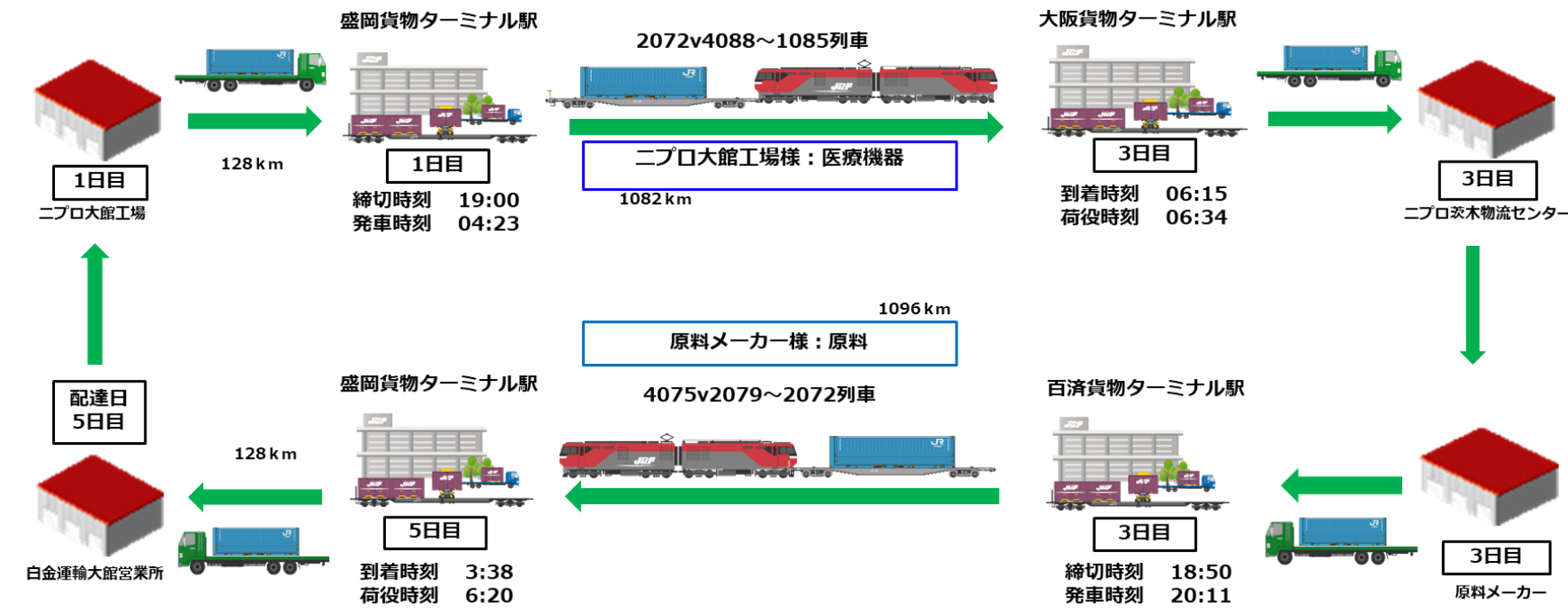
- 【事業実施背景】
- ・ドライバー不足による輸送力の低下、物流の持続性の不安
 - ・カーボンニュートラル、CO₂削減への対応

協議会構成員
ニプロ株式会社、日本貨物鉄道株式会社、株式会社合通ロジ、
NX・TCリース&ファイナンス株式会社、白金運輸株式会社

ラウンドユース:荷卸したコンテナを空で返却せず往復で利用する

事業内容

Point 現行はトラック輸送で別々に行っているニプロ大館工場⇄大阪間の製品輸送・原料輸送を鉄道輸送にシフトし、輸送先に荷卸した31ftコンテナに復路の荷物を積んで出発地に戻し、往復で鉄道コンテナを使用する。



想定事業実施効果

トラック輸送から鉄道輸送へのシフトにより、
4~5日運行していたドライバーは荷帰り運行となり、長距離部分を鉄道にシフトすることで輸送力を担保。

【CO₂削減効果】
1.02t- CO₂ → 0.304t- CO₂
70.2%削減

【燃料削減】原油換算
385ℓ → 166ℓ
往復で 438ℓ削減

といった効果を見込む